



大泉

「自律」

「協働」

「創造」

令和7年7月18日
発行者 大槻 亨
編集 本田 敏行

第4号

戦後 80 年の夏：平和への願いを胸に

校長 大槻 亨

いよいよ明日から、待ちに待った夏休みが始まります。今年の夏は、第二次世界大戦が終結してから 80 年という節目の夏でもあります。

「今から 80 年前」と聞いて、皆さんはどんなことを想像するでしょうか。ひょっとしたら、おじいさんやおばあさんが生まれるよりもずっと前の、遠い昔の話だと感じるかもしれません。

夏の暑さ、元気に鳴くセミの声、真っ青な空、そして待ち遠しい夏休み。今の私たちにとって、夏は楽しい思い出を作るかけがえのない季節です。しかし、ちょうど 80 年前の日本は、戦争のただ中にありました。

第二次世界大戦では、日本の軍人や一般の人々、合わせておよそ 310 万人もの尊い命が失われたと言われています。当時の人々は、食料が足りず、お腹いっぱいご飯を食べることもできませんでした。空襲警報が鳴り響くたびに防空壕に逃げ込み、いつ爆弾が落ちてくるかわからない恐怖の中で暮らしていたのです。まだ若い学生たちが学業を中断して武器を取り、工場で働かされたり、幼い子どもたちが親元を離れて遠い場所に避難したりと、当たり前の日常はすべて奪われてしまいました。

今、わたちがこうして学校で勉強し、友達と笑い合えるのは、80 年前の戦争で多くの命が犠牲になり、その悲しい経験から「二度と戦争を起こしてはいけない」と強く願い、平和な社会を築こうと努力してくださった、たくさんの人々のおかげです。

しかし、世界に目を向けると、ウクライナや中東など、いまだに争いが続く地域があり、国際情勢は混迷を極めています。

私たちは戦争を直接体験していません。でも、だからこそ、戦争の記憶を風化させず、平和の大切さを次の世代へと語り継いでいく責任があります。

「戦争のない世界を築く」というと、とても大きなことに感じるかもしれません。でも、私たち一人ひとりにもできることはたくさんあります。まずは、身近な平和を大切にすることから始めてみませんか。

たとえば、日々の学校生活の中で、友達を思いやること。自分と違う意見をもつ人の考えも尊重すること。そうした小さな積み重ねが、大きな平和へとつながる第一歩になります。

今年の夏、80 年前の日本に何があったのか。そして、これから私たちは、この平和な社会をどう守り、どう築いていくのか。それぞれの場所で、少しでも考えてみる時間を作ってみてはどうでしょうか。

一回り成長した皆さんと 2 学期の始業式で会えることを、心から楽しみにしています。



大泉中生の活躍



3年生にとっては部活動の最後の大会になる時期です。これまでの厳しい練習に頑張ったこと本当におつかれさまでした。仲間と共に流した汗や涙、時には衝突もあったことでしょう。

しかし、その全てを分かち合った時間はかけがえのないものです。言い換えると「一生の宝物」になったと思います。

3年生にとっては負ければ「引退」という現実があります。苦しい練習を重ねて「勝つ」ための最大限の努力をし、その姿は後輩たちに大きな刺激と未来への希望を与えてくれたと思います。何か一つのことに努力と情熱を注いだ経験は、これからの「自分自身」に大きな力となっていくものです。

3年生はこれからそれぞれの進路に向けて新たな挑戦が始まります。部活動で培った「最後まで諦めないやり抜く力」「仲間を信じる心」を胸に自分の進んでいく道をしっかり見据えてほしいと願っています。「迷うことなかれ、迷う暇があったら一歩前へ踏み出す勇気をもて」という言葉を信じて頑張ってください。そして、迷った時は直ぐに相談してください。皆さんの周りには多くの大人や先生方がいますから。

都大会出場決定！

☆サッカー部 … 7月23日（水）調布西町グラウンド 9:30キックオフ

☆バドミントン部女子団体 … 7月23日（水）駒沢オリンピック公園 総合運動場体育館

☆剣道部 … 7月22日（火）、23（水）東京武道館

☆女子ソフトボール … 7月20日（日）、21日（月）葛西臨海球技場野球場

多くのご声援をよろしくお願いいたします！

◎今学期も多くの表彰がありました。個人や団体で素晴らしい成果を出してくれた仲間たちを誇りに思います



【女子ソフト部】



【水泳部】



【剣道部】



【女子バドミントン部】



【陸上部】